

プログラム

1日目 9月30日(土)

第1会場 (サブホール)

開会式 9:20～

ワークショップ 1 9:30～10:30

座長：長谷川 高志 (特定非営利活動法人日本遠隔医療協会)

遠隔診療推進の展望

WS1-1 在宅患者のための遠隔診療、多施設前向き臨床試験、結果概況

○長谷川 高志¹⁾、鈴木 亮二²⁾、齋藤 勇一郎²⁾、酒巻 哲夫³⁾

1) 日本遠隔医療協会、2) 群馬大学医学部附属病院、3) 高崎市医師会看護専門学校

WS1-2 在宅医療において Skype を使った遠隔診療を行った症例

○谷合 久憲¹⁾、長谷川 高志²⁾、酒巻 哲夫²⁾、井島 美佐緒³⁾

1) 秋田厚生連由利組合総合病院糖尿病代謝内科、2) 群馬大学、3) 株式会社池田薬局

WS1-3 茨城県南部地域における遠隔診療の実践

○久保山 修¹⁾、萱橋 理宏²⁾、笠原 慎吾³⁾

1) つくばハートクリニック、2) 遠隔医療推進ネットワーク、

3) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科心臓血管外科

大会長講演 10:40～11:10

座長：近藤 博史 (鳥取大学医学部付属病院医療情報部)

「遠隔」という言葉に何を見るか？

坂田 信裕 (獨協医科大学 情報教育部門)

シンポジウム 1 13:00～15:10

座長：坂田 信裕 (獨協医科大学 情報教育部門)

清水 周次 (九州大学病院)

新たなテクノロジーの挑戦と遠隔医療

SY1-1 ドローン、IoT などの最新技術で変わる近未来の救急医療と遠隔医療

○円城寺 雄介

佐賀県 政策部 企画課 企画担当係長、
一般社団法人 救急医療・災害対応無人機等自動支援システム活用推進協議会、
(EDAC) 副理事長 兼 最高経営責任者 (CEO)、総務省 地域情報化アドバイザー

SY1-2 人工知能 (AI) 技術を活用した精神科領域における取り組み

○岸本 泰士郎

慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

SY1-3 音声による健康状態のモニタリングシステムについて

○大塚 寛

PST 株式会社

SY1-4 過疎と高齢化の進む地域の未来に向けたチャレンジと遠隔医療

○能勢 佳子

肝付町役場 福祉課 介護保険係参事

指定発言 総務省における遠隔医療の取組について

○田中 一也

総務省 情報流通高度化推進室 課長補佐

シンポジウム2 15:20 ~ 17:30

座長：本間 聡起 (JCHO埼玉メディカルセンター・健康管理センター)

小林 直樹 (埼玉医科大学保健医療学部 医用生体工学科)

遠隔診察（テレケア）をサポートするプラットフォームの構築をめざして

緒言 遠隔診察に求められるシステムのコンテンツ

○本間 聡起

JCHO 埼玉メディカルセンター・健康管理センター、慶應義塾大学 SFC 研究所／看護医療学部

SY2-1 遠隔診療を取り巻く政策動向

○吉村 健佑

国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部、厚生労働省医政局研究開発振興課医療技術情報推進室

SY2-2 遠隔診察に求められる記録システムー PHR システムと診療録との関連ー

○安藤 裕

JCHO 埼玉メディカルセンター 放射線科、一般社団法人 PHR 協会

SY2-3 臨床現場から見た遠隔診療の適切な推進

○加藤 浩晃

京都府立医科大学

SY2-4 遠隔診察と在宅モニタリング 運用面から見た現状と課題

○鹿妻 洋之

電子情報技術産業協会 ヘルスケア IT 研究会 主査

SY2-5 遠隔診療に係わる認証システムの構築

○小尾 高史

東京工業大学 科学技術創成研究院

SY2-6 テレケア時に使用される画像データの処理とその応用

○小林 直樹

埼玉医科大学 保健医療学部

第2会場 (3F 特別会議室)

分科会 1 10:40 ~ 11:40

座長：加藤 浩晃 (京都府立医科大学 特任助教)
竹村 昌敏 (東京医科歯科大学 整形外科)

遠隔診療モデル研究分科会

- S1-1** 遠隔診療の法整備の現在 遠隔診療の実施医療機関をサポートした上での知見
○田丸 雄太
株式会社メドレー
- S1-2** 治療アプリ・クラウドがもたらす新たな遠隔治療
ー我が国におけるソフトウェア治療の創出を目指してー
○佐竹 晃太
株式会社キュア・アップ
- S1-3** 現在の種々のメディカルスタッフによる遠隔医療海外事例の分析
○竹村 昌敏
東京医科歯科大学 整形外科
- S1-4** 遠隔診療とデルファイ法 生活習慣病の遠隔診療におけるデルファイ法研究の可能性
○加藤 浩晃
京都府立医科大学

ランチョンセミナー 1 12:00 ~ 12:50

共催：株式会社ファインデックス

在宅アセスメントシステムとIoTデバイス活用による在宅医療機能の最大化

友松 郁子 (イーグルマトリックスコンサルティング株式会社)
竹内 円雅 (イーグルマトリックスコンサルティング株式会社)

分科会 3 16:30 ~ 17:30

座長：岸本 泰士郎 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)
江口 洋子 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

精神科遠隔医療分科会

- S3-1** Japanese Initiative for Diagnosis and Treatment Evaluation Research in Telepsychiatry(J-INTEREST):
プロジェクトオーバービューとデータベース構築・ガイドライン策定の経過と展望
○岸本 泰士郎
慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室
- S3-2** Japanese Initiative for Diagnosis and Treatment Evaluation Research in Telepsychiatry(J-INTEREST):
高齢者に対するテレビ会議システムを用いた認知機能の評価の信頼性の検討および満足度調査
○飯干 紀代子¹⁾、山内 育子¹⁾、江口 洋子²⁾、山岡 義尚²⁾、岸本 泰士郎²⁾
1) 志學館大学人間関係学部、2) 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

S3-3 Japanese Initiative for Diagnosis and Treatment Evaluation Research in Telepsychiatry(J-INTEREST):
強迫症・不安症へのテレビ電話による認知行動療法の単群試験

○松本 一記¹⁾、清水 栄司¹⁾²⁾

- 1) 千葉大学医学部附属病院 認知行動療法センター、
- 2) 千葉大学大学院医学研究院 認知行動生理学

S3-4 Japanese Initiative for Diagnosis and Treatment Evaluation Research in Telepsychiatry(J-INTEREST):
海外在留邦人に対するコホート調査

○江渕 有希¹⁾、山縣 文²⁾、岸本 泰士郎²⁾、三村 将²⁾

- 1) 横浜市立市民病院、2) 慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室

第3会場 (3F 第1会議室)

ランチョンセミナー2 12:00 ~ 12:50

共催：KPMG コンサルティング株式会社

分科会2 13:30 ~ 14:30

座長：中村 昭則 (NHOまつもと医療センター神経内科部長)

吉川 健太郎 (信州大学医学部附属病院 特任研究員)

在宅生体モニタリング機器情報遠隔伝送のためのガイドライン策定分科会

S2-1 内外人工呼吸器緊急アラームのインターネット通報に関する実験的検討

○滝沢 正臣¹⁾、中村 昭則²⁾³⁾、吉川 健太郎⁴⁾⁵⁾

- 1) 信州大学医学部附属病院 総合遠隔診療室、2) 国立病院機構まつもと医療センター 神経内科、
- 3) 信州大学医学部 第三内科、4) 信州大学附属病院 小児科、5) 長野県立木曽病院 小児科

S2-2 人工呼吸器からのアラーム伝送とマルチモニタリングシステム

○吉川 健太郎^{1) 2)}、滝沢 正臣³⁾

- 1) 信州大学医学部附属病院 小児科、2) 長野県立木曽病院 小児科、
- 3) 信州大学医学部附属病院 総合遠隔診療室

S2-3 人工呼吸器のアラーム伝送の院内実証実験

○中村 昭則^{1) 2)}、滝沢 正臣³⁾、吉川 健太郎⁴⁾

- 1) 国立病院機構まつもと医療センター 神経内科、2) 信州大学医学部 第三内科、
- 3) 信州大学医学部附属病院 総合遠隔診療室、4) 信州大学医学部 小児科

S2-4 人工呼吸器中心のネットワーク化医療機器と救急遠隔診療に関する国際標準化協力について

○黒田 正博¹⁾、滝沢 正臣²⁾、中村 昭則³⁾⁴⁾、吉川 健太郎⁵⁾⁶⁾

- 1) 国立研究開発法人 情報通信研究機構 イノベーション推進部門 標準化推進室、
- 2) 信州大学医学部附属病院 総合遠隔診療室、3) 国立病院機構まつもと医療センター 神経内科、
- 4) 信州大学医学部 第三内科、5) 信州大学附属病院 小児科、6) 長野県立木曽病院 小児科

2日目 10月1日(日)

第1会場 (サブホール)

表彰式・編集委員会からのお知らせ 9:15～

シンポジウム3 9:40～11:50

座長：郡 隆之 (利根中央病院)
森田 浩之 (岐阜大学)

遠隔医療の次なるステージ - 実証から実践へ -

SY3-1 遠隔診察のための新しい内科診断学の構築 - 遠隔ならではの特色も活かす

○本間 聡起
JCHO 埼玉メディカルセンター・健康管理センター

SY3-2 循環器領域における遠隔医療の現状と今後の可能性

○琴岡 憲彦、浅香 真知子、野出 孝一
佐賀大学医学部循環器内科・先進心不全医療学講座

SY3-3 道北北部医療連携ネットワーク (ポラリスネットワーク) システムによる
遠隔救急トリアージについて

○酒井 博司
名寄市立総合病院 副院長 地域医療連携室長

SY3-4 妊婦遠隔管理システムの現状と今後の展望 - 岩手県での実践事例から -

○小笠原 敏浩
岩手県立大船渡病院 産婦人科

SY3-5 我が国の精神科遠隔医療社会実装に向けての可能性と課題

○岸本 泰仕郎
慶応義塾大学医学部 精神・神経科学教室

SY3-6 眼科遠隔医療

○石子 智士
旭川医科大学 医工連携総研講座

市民公開講座 13:00～14:30

座長：坂田 信裕 (獨協医科大学 情報教育部門)

ロボットも生活の中で活躍する時代へ

講演 吉藤 健太郎 (オリィ研究所 代表取締役 CEO)

討論会 林 要 (GROOVE X 株式会社)
坂田 信裕 (獨協医科大学 情報教育部門)

第2会場（3F 特別会議室）

分科会 4 9:15～10:30

座長：鈴木 亮二（群馬大学医学部附属病院）
小川 晃子（岩手県立大学）

在宅見守り支援分科会

S4-1 服薬支援装置の利用形態と支援者の役割

○鈴木 亮二¹⁾⁵⁾、長谷川 高志²⁾⁵⁾、小川 晃子³⁾⁵⁾、鎌田 弘之⁴⁾⁵⁾

1) 群馬大学医学部附属病院、2) 日本遠隔医療協会、3) 岩手県立大学、4) 盛岡赤十字病院、5) 日本遠隔医療学会在宅見守り支援分科会

S4-2 地域包括ケアにおける重層的見守りの有効性

－釜石市平田における実証実験を事例として－

○小川 晃子¹⁾⁵⁾、鎌田 弘之²⁾⁵⁾、齋藤 昭彦¹⁾、千田 睦美¹⁾、鈴木 亮二³⁾⁵⁾、長谷川 高志¹⁾⁴⁾⁵⁾

1) 岩手県立大学、2) 盛岡赤十字病院、3) 群馬大学医学部附属病院、4) 日本遠隔医療協会、5) 日本遠隔医療学会在宅見守り支援分科会

S4-3 ICT活用による高齢者見守りシステムの市町村での実施方策

－地域包括ケアシステムの構築に向けての政策形成・政策提言のために－

○齋藤 昭彦¹⁾⁵⁾、小川 晃子¹⁾⁵⁾、鎌田 弘之²⁾⁵⁾、鈴木 亮二³⁾⁵⁾、千田 睦美¹⁾、長谷川 高志⁴⁾⁵⁾

1) 岩手県立大学、2) 盛岡赤十字病院、3) 群馬大学医学部附属病院、4) 日本遠隔医療協会、5) 日本遠隔医療協会見守り分科会

S4-4 異なる能動的発信を併用した見守りは単独よりも発信率を上げる

○鎌田 弘之¹⁾⁵⁾、小川 晃子²⁾⁵⁾、鈴木 亮二³⁾⁵⁾、長谷川 高志⁴⁾⁵⁾

1) 盛岡赤十字病院健診部、2) 岩手県立大学、3) 群馬大学医学部附属病院、4) 日本遠隔医療協会、5) 日本遠隔医療学会在宅見守り支援分科会

S4-5 血圧遠隔見守りを行う看護職からみた必要な視点と情報

－ICTによる重層的見守りシステムの事例から－

○千田 睦美¹⁾、小川 晃子¹⁾³⁾、鎌田 弘之²⁾³⁾

1) 岩手県立大学、2) 盛岡赤十字病院、3) 日本遠隔医療学会在宅見守り支援分科会

ワークショップ 2 10:40～11:40

座長：亀井 智子（聖路加国際大学看護学部）
永井 優子（自治医科大学看護学部）

「特定行為にかかる看護師の研修制度」におけるICTを用いた遠隔教育 －遠隔医療の支え手としての特定行為研修修了者の可能性－

WS2-1 特定行為にかかる看護師の研修とは

○春山 早苗

自治医科大学 看護学部

WS2-2 看護師特定行為研修における実践教育へのICT活用の有効性

○八木 街子、村上 礼子、鈴木 美津枝、永井 優子、春山 早苗

自治医科大学看護学部、自治医科大学看護師特定行為研修センター

WS2-3 特定行為研修修了者が遠隔医療で活躍するための課題と展望

○村上 礼子

自治医科大学看護学部 特定行為研修センター

糖尿病重症化予防を目的とした治療支援AI

倉沢 央 (NTT サービスエボリューション研究所)

坂口 健 (NTT 研究企画部門)

分科会5 13:15～14:15

座長：山田 恒夫 (一般財団法人医療情報システム開発センター)

小田切 幸平 (名瀬徳洲会病院産婦人科)

周産期医療分科会

S5-1 ASEAN-Japan 医療 ICT フォーラム報告

－周産期管理システム、モバイル CTG のグローバル展開－

○原 量宏

香川大学瀬戸内圏研究センター

S5-2 岩手県周産期医療情報ネットワーク“いーはとーぶ”連携から実現できた地域母子保健関係者ネットワーク － ICT が地域見守り連携を実現する－

○小笠原 敏浩

岩手県立大船渡病院 産婦人科

S5-3 アジアに於ける母子健康サービスの可能性

－インド、ミャンマー、カンボジアの遠隔医療開発事情調査－

○樽松 八平¹⁾、田中 雄介²⁾、木村 功¹⁾

1) 認定 NPO 法人 BHN テレコム支援協議会 (BHN)、

2) 一般財団法人 海外通信・放送コンサルティング協力 (JTEC)

S5-4 離島でも安心・安全・最高の産科医療を提供するために…

－結いの心、IT、地域の連携を通じて－

○小田切 幸平

名瀬徳洲会病院

第3会場 (3F 第1会議室)

救急医療における遠隔医療の役割

郡 隆之 (利根中央病院 外科、アジア遠隔医療研究所)

一般演題プログラム

1日目 9月30日(土)

一般演題 A1 9月30日(土) 9:30~10:30

第2会場 (特別会議室)

座長：郡 隆之 (利根中央病院)
森山 大樹 (九州大学病院 国際医療部)

A1-1 国際的な遠隔医療カンファレンス運営のための情報デザイン
ーイベントプログラム管理システムの構築・公開運用ー

○工藤 孔梨子¹⁾、工藤 達郎²⁾、安徳 恭彰³⁾、寅田 信博⁴⁾、森山 大樹¹⁾、中島 直樹¹⁾、清水 周次¹⁾
1) 九州大学病院国際医療部、2) 久留米工業大学工学部情報ネットワーク工学科、
3) 大分大学医学部附属病院医療情報部、4) 九州大学病院医療技術部

A1-2 インドネシア国内での定例遠隔医療カンファレンス導入に向けた取り組み

○富松 俊太、工藤 孔梨子、波々伯部 佳子、北村 泰一、森山 大樹、麻生 暁、中島 直樹、清水 周次
九州大学病院国際医療部

A1-3 移動体通信網を用いた遠隔画像診断システムの施設外利用の認容性の評価

○郡 隆之
利根中央病院外科

A1-4 医療過疎地域診療における電子聴診器活用の可能性

○儀賀 普嗣¹⁾、石戸谷 耕一²⁾、貞森 拓磨¹⁾、菊谷 知也¹⁾、島谷 竜俊¹⁾、大下 慎一郎¹⁾、志馬 伸朗¹⁾
1) 広島大学大学院救急集中治療医学、2) パイオニア株式会社

一般演題 A2 9月30日(土) 13:30~14:30

第2会場 (特別会議室)

座長：近藤 博史 (鳥取大学医学部付属病院医療情報部)
本間 聡起 (JCHO埼玉メディカルセンター)

A2-1 クラウド型救急医療連携支援システムの有用性評価

○守屋 潔¹⁾、東 信良²⁾、古屋 敦宏²⁾、紙谷 寛之²⁾、国沢 卓之³⁾、吉田 晃敏⁴⁾
1) 旭川医科大学医工連携総研講座、2) 旭川医科大学外科学講座、
3) 旭川医科大学麻酔・蘇生学講座、4) 旭川医科大学

A2-2 ICTを用いた他施設医師による専門診療支援事例報告 ー大規模拠点の本格稼働ー

○嗣江 建栄
ViewSend ICT 株式会社

A2-3 在宅患者対象の遠隔診察における診療用アプリケーションの開発研究

○本間 聡起¹⁾、小林 直樹²⁾
1) JCHO 埼玉メディカルセンター、2) 埼玉医科大学保健医療学部

A2-4 おしどりネットにおける HPKI 電子署名付き紹介状システムの開発

○近藤 博史
鳥取大学医学部附属病院

一般演題 A3 9月30日(土) 14:40~15:40

第2会場 (特別会議室)

座長：東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科)
中島 功 (東海大学)

- A3-1** ラジオ難聴地域でも運用可能なインターネット防災ラジオシステムの改善
○松本 浩樹、岡崎 浩幸、江面 直輝
前橋工科大学
- A3-2** デジタルパソロジー画像入力機器の光源スペクトラム特性
○東福寺 幾夫¹⁾、高松 輝賢²⁾
1) 高崎健康福祉大学、2) クラーロ株式会社
- A3-3** WSI 機器照明の光学的配光分布特性
○高松 輝賢¹⁾、東福寺 幾夫²⁾
1) クラーロ株式会社、2) 高崎健康福祉大学
- A3-4** 鳥類胸壁に取り付けた磁界センサから呼吸を推定する研究
○中島 功、猪口 貞樹、中田 薫
東海大学医学部

一般演題 A4 10月1日(日) 9:15~10:15

第3会場 (第1会議室)

座長：太田 隆正 (医療法人緑隆会太田病院)
本多 正幸 (長崎大学医学部)

- A4-1** 電子母子情報システムの構築
○松島 一彰¹⁾、松本 浩樹²⁾
1) 一般社団法人 ICT まちづくり共通プラットフォーム推進機構、2) 前橋工科大学
- A4-2** 訪問看護師支援を行うケア情報共有システム【e-ケアメモ】の評価
○高橋 遼平¹⁾、堀 謙太²⁾、小笠原 映子³⁾、大星 直樹¹⁾
1) 近畿大学大学院、2) 兵庫医科大学、3) 新潟大学
- A4-3** ケア情報共有支援システム【e-ケアメモ】により共有されたケア情報の分析
—訪問看護ステーションでの実証実験より—
○小笠原 映子¹⁾、高橋 遼平²⁾、堀 謙太³⁾、大星 直樹²⁾
1) 新潟大学、2) 近畿大学大学院、3) 兵庫医科大学
- A4-4** 地域医療介護への遠隔医療の活用 —在宅医療支援分科会報告—
○太田 隆正¹⁾、金山 時恵²⁾
1) 医療法人緑隆会太田病院、2) 新見公立大学健康科学部看護学科

一般演題 B1 9月30日(土) 9:30~10:30

第3会場 (第1会議室)

座長：鈴木 亮二 (群馬大学医学部附属病院)

- B1-1** クラウドコンピューティングを活用した特定施設向け在宅医療サポートシステムの構築
○笹山 哲¹⁾、内海 桃絵²⁾、野本 慎一³⁾
1) 京都大学、2) 大阪大学、3) 滋賀県立リハビリテーションセンター

B1-2 過疎地域における遠隔診療支援システムを用いた脳卒中診療支援の検証
－対面診療と遠隔診療支援の融合－

○影治 照喜
徳島県立海部病院 脳神経外科

B1-3 過疎地域における自治体病院間での地域医療ネットワークの構築

○影治 照喜
徳島県立海部病院 脳神経外科

B1-4 遠隔医療での新しい在宅医療システムの構築

○萱橋 理宏¹⁾、久保山 修²⁾、笠原 慎吾³⁾
1) 遠隔医療推進ネットワーク、2) つくばハートクリニック、
3) 岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 心臓血管外科

一般演題 B2 9月30日(土) 10:40～11:40

第3会場 (第1会議室)

座長：吉嶺 裕之 (社会医療法人春回会井上病院)

B2-1 Telemedicine technique for orofacial pain management: a protocol of systematic review and meta-analysis of randomized controlled trails
Telemedicine for orofacial pain management: a protocol of systematic review and meta-analysis

○Takuya Naganawa¹⁾, Yuto Tanaka²⁾, Keika Hishi³⁾
1) Department of oral and maxillofacial surgery, Tokyo women's medical university
2) Department of Disability and Oral Health, Osaka Dental University
3) The Kitasato University School of Medicine (KUSM) Department of Hygiene

B2-2 生活習慣病遠隔診療に関する臨床研究報告 ポート株式会社における取り組み

○園生 智弘¹⁾²⁾、伊藤 恭太郎¹⁾、岡田 里佳¹⁾
1) ポート株式会社、2) 東京大学救急科学

B2-3 本邦における在宅呼吸管理と CPAP 遠隔医療の構築 在宅呼吸管理と CPAP 遠隔医療

○陳 和夫
京都大学大学院 医学研究科 呼吸管理睡眠制御学講座

B2-4 睡眠医療専門施設における CPAP 遠隔医療の実際

○吉嶺 裕之
社会医療法人春回会 井上病院

一般演題 B3 9月30日(土) 14:40～15:55

第3会場 (第1会議室)

座長：松本 浩樹 (前橋工科大学)

B3-1 遠隔画像参照システム (VS Gateway) の使用経験

○中西 登志雄、市村 正明、渡邊 宗章
筑波大学附属病院、水戸地域医療教育センター、茨城県厚生連総合病院、水戸協同病院

B3-2 災害現場 (熊本地震) における当院の遠隔カルテ、画像転送システムの運用について

○坂元 健一¹⁾、井手 大剛²⁾、徳重 宏二¹⁾、平原 一穂¹⁾
1) 霧島記念病院 災害医学科 脳神経外科、2) 霧島記念病院 災害医学科 放射線科

B3-3 オフラインの超音波動画を用いた、遠隔診断による胎児心臓スクリーニングの精度と効率の検討

○金 基成¹⁾、川滝 元良²⁾³⁾、石川 浩史⁴⁾、豊島 勝昭³⁾、上田 秀明¹⁾

1) 神奈川県立こども医療センター 循環器内科、2) 東北大学大学院医学系研究科 融合医工学分野、
3) 神奈川県立こども医療センター 新生児科、4) 神奈川県立こども医療センター 産婦人科、

B3-4 8K スーパーハイビジョンを活用した遠隔医療モデルに関する実証
遠隔病理診断モデルと遠隔診療支援モデルにて

○岸本 純子¹⁾、尾田 識史¹⁾、桜花 和也¹⁾、佐々木 毅²⁾、藤井 丈士³⁾、八坂 貴宏⁴⁾、竹中 基⁵⁾、
富村 沙織⁵⁾

1) 株式会社 NTT データ経営研究所、2) 東京大学医学部附属病院、
3) 国家公務員共済組合連合会 虎の門病院、4) 長崎県上五島病院、5) 長崎大学病院

B3-5 非侵襲的長時間連続転送テレメトリー式心電送信機を用いた潜在性脳梗塞患者
における潜在性心房細動検出の有用性
非侵襲的長時間連続転送テレメトリー式心電送信機の有用性

○秋山 久尚、伊佐早 健司、長谷川 泰弘

聖マリアンナ医科大学 神経内科

一般演題 B4 9月30日(土) 16:15~17:30

第3会場 (第1会議室)

座長：木ノ内 玲子 (旭川医科大学)

B4-1 A 県の訪問看護事業者における ICT 機器の保有・活用状況と事業者・管理者の特性との関連

○足立 秀幸¹⁾、前田 修子²⁾、村角 直子²⁾

1) 金沢医科大学大学院 看護学研究科 修士課程、
2) 金沢医科大学大学院 看護学研究科 地域生活支援看護学領域

B4-2 在宅療養生活を送る終末期がん患者を支援するタブレット端末を活用したテレナーシングプログラムの開発

○井上 菜穂美¹⁾、小島 操子²⁾

1) 聖隷クリストファー大学 看護学部、2) 元聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科

B4-3 訪問看護に遠隔地の医師を介在させる医療支援情報システム「アタッシュドクター」の開発

○横田 祐介¹⁾、山本 豪志朗²⁾、平木 秀輔²⁾、大星 直樹¹⁾、黒田 知宏²⁾

1) 近畿大学、2) 京都大学

B4-4 遠隔看護実践に必要な能力に関する看護基礎教育における学習内容の検討
中間報告

○豊増 佳子¹⁾²⁾、川口 孝泰¹⁾

1) 東京情報大学、2) 筑波大学大学院

B4-5 遠隔見守りシステムを伴うコミュニケーションロボット導入は、介護労働者の深夜間勤務負担を軽減する

○尾林 和子¹⁾²⁾、近藤 洋正¹⁾、尾形 剛弥¹⁾、石井 陽子²⁾、増山 茂³⁾

1) 東京聖新会、2) ユニバーサルアクセシビリティ評価機構、3) 東京医科大学

座長：岸本 純子 (株式会社NTTデータ経営研究所)

- B5-1** コンゴ民主共和国における遠隔会議システムを用いた医療情報共有の試み
○北村 泰一、工藤 孔梨子、森山 大樹、清水 周次
九州大学病院 国際医療部
- B5-2** STIC 遠隔配信勉強会を用いた胎児心臓超音波検査教育への活用
○増山 葉月¹⁾、川滝 元良²⁾、窪谷 潔³⁾、紀平 力⁴⁾、佐藤 雄一⁵⁾
1) 産科婦人科舘出張佐藤病院 検査部、2) 東北大学 産科婦人科、3) 窪谷 産婦人科、
4) 三重中央医療センター、5) 産科婦人科舘出張佐藤病院 産婦人科
- B5-3** 日本、台湾、中国との胎児心エコー遠隔カンファレンスの報告
○川瀧 元良
東北大 産婦人科
- B5-4** 和歌山県の遠隔医療推進の取り組み
○野尻 孝子¹⁾、上野 雅巳²⁾、加藤 正哉³⁾
1) 和歌山県、2) 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター、
3) 和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座
- B5-5** 県、および県立医大主導の遠隔診療支援システムによるへき地医療の経験
○多田 明良¹⁾、野尻 孝子²⁾、上野 雅巳³⁾、廣西 昌也⁴⁾、吉川 達也⁵⁾、宮崎 友理⁵⁾
1) 国保北山村診療所、2) 和歌山県福祉保健部健康局、3) 和歌山県立医科大学 地域医療支援センター、
4) 和歌山県立医科大学 神経内科、5) 和歌山県立医科大学 リハビリテーション科

座長：岡田 宏基 (香川大学)

- B6-1** 神経疾患患者の「遠隔医療」に対する意識調査
○櫻井 謙三¹⁾、鈴木 祐¹⁾、森 華奈子¹⁾、今井 健²⁾、長谷川 泰弘³⁾
1) 川崎市立多摩病院 神経内科、2) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 神経内科、
3) 聖マリアンナ医科大学 神経内科
- B6-2** 男性型脱毛症の遠隔診療に対する取り組みから 皮膚疾患の遠隔診療への可能性の考察
○岡田 里佳¹⁾、桐生 超智²⁾、伊藤 恭太郎¹⁾、園生 智弘¹⁾、青木 美弥¹⁾、掛川 愛莉奈¹⁾
1) ポート株式会社、2) 東京ロイヤルクリニック
- B6-3** 岡山県では迅速な脳卒中患者搬送を必要とし、44%は脳卒中遠隔画像診療支援システムを必要としていない
○井上 剛
川崎医科大学総合医療センター 脳卒中科
- B6-4** 遠隔医療を用いて麻酔科診療支援を施行した一症例
○林 健太郎¹⁾、神田 浩嗣¹⁾、笹川 智貴¹⁾、三上 大季²⁾、林 弘樹²⁾、国沢 卓之¹⁾
1) 旭川医科大学 麻酔・蘇生学講座、2) 旭川医科大学 医工連携総研講座